

令和元年6月

袋井市議会定例会

一般質問通告内容

袋井市議会

一般質問通告議員

実施日	質問順	議員名	質問形式	ページ
6/11(火)午前	1	伊藤 謙一	一問一答	3
	2	浅田 二郎	一問一答	5
	3	佐野 武次	一括	7
6/11(火)午後	4	森杉 典子	一括	8
	5	高橋 美博	一問一答	9
	6	竹野 昇	一問一答	11
6/12(水)午前	7	近藤 正美	一括	12
	8	寺田 守	一括	13
	9	岡本 幹男	一括	14
6/12(水)午後	10	村井 勝彦	一問一答	16
	11	木下 正	一問一答	17
	12	山田 貴子	一括	18
6/13(木)午前	13	高木 清隆	一括	20

質問順序	1	議席番号	12	質問者	伊藤 謙一
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	<p><b>ICT施策に関して</b></p> <p>今後の人口減少や高齢化を背景に、国は経済成長や国際貢献の観点からICT施策の更なる推進を明言している。今後本市が見据える将来においてさまざまな観点からICT施策の推進が必要であると感じるため、以下を質問する。</p> <p>(1) 内閣府は2016年、第5期科学技術基本計画内（2016～2020）にてSociety（ソサエティ）5.0を提唱し、わが国の目指すべき姿として示している。本市でも本年3月、第3次袋井市ICT推進計画が示され、今後の市のICTビジョンと具体的に推進する施策が示された。しかし、計画による周知だけではICTの活用が市民の生活にどのような影響を与えるかイメージしにくいと個人的に感じる。内閣府の伝達手法に倣い、事業の効果を分かりやすく説明した上で今後のICT施策を積極的に取り組むことを望むがいかがか。</p> <p>(2) 本年、総務省との職員交流が行われており、総務省職員と本市職員がそれぞれの機関に出向している。本市の考える両名の職員に対するミッションはどのように考えているか。</p> <p>(3) 今後の具体的なICT施策の実行を踏まえ、人材の確保の必要性を感じる。ICT分野の技術職（エンジニア）の採用が必要だと感じており、市長部局及び教育部局にそれぞれ配置ができないかと考えるが、市の考えを伺う。</p> <p>(4) 本市には、ICTの施策を進める上で多くのリソースがあると感じる。地域の大学、企業はもちろんのこと、友好関係にある鯖江市や米国ヒルズボロ市にもIT関連の教育機関や企業が充実していることから、当局幹部または市の職員に先進地視察・職員（社員）交流、また、自治体間による広域連携等の観点からも提案できないかと感じるがどうか。</p> <p>(5) 総務省は人口減少と少子高齢化の観点から、25%の自治体が人口が半分以下になる2040年問題を提起している。この総務省の資料によると本市の人口は2040年に10%の減少が既に予測されている。人口減少の影響のひとつに、本市の自治会等の住民自治に大きな影響をもたらすと個人的に感じている。地域づくりでは、地域コミュニティでの基礎的サービスを維持していくために、ICTをどう活用していくか。さらに、限られた施設や人材などのリソースを、地域を越えてシェアしていくために、ICTをどう利用すべきかが課題であると感じる。既に幾つかのコミュニティセンターでは、ライン公式アカウントの活用等も始まっているが、コミュニティセンター事業や地域での具体的なまちづくり活動にICTの活用を考える検討会を開き、職員を派遣し地域の課題をICTを用いて解決できないか。</p>				市長

質問順序	1	議席番号	12	質問者	伊藤 謙一	答弁者	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）						《一問一答》	
<b>2</b>	<b>宿泊施設を基点とした観光施策に関して</b> <p>現在、JR袋井駅北口の本市駐輪・駐車場へのホテル建設を袋井商工会議所が中心となり進めている。本市の市有地を提供する部分から、これが一企業や団体のみが恩恵を得るのではなく、幅広く袋井市全体の観光産業や交流人口増加のために必要であったと思える施設にしていく必要があると感じる。そのためには、今後は袋井市の観光形態の傾向である「安・近・短・少」から違った形に変えていく必要があると感じるため、以下をお伺いする。</p> <p>(1) 袋井市観光基本計画によると、令和2年度の宿泊客数の目標値は58,000人であるが、宿泊客数の現状値は。また、ホテル建設後の目標設定をどのように考えるか。</p> <p>(2) 現在の観光形態の傾向である「安・近・短・少」に課題認識はあるか。</p> <p>(3) 市内宿泊施設利用に対して市の補助を用いて、宿泊者誘致を提案するがいかか。また、MICE（マイス）等のビジネストラベリングの誘致や、エコパ・新総合体育館を利用したスポーツ合宿・大会等の誘致、また、インバウンドに対し、訪日外国人に対する宿泊者誘致等のターゲットを絞って誘致を行う考えはないか。</p> <p>(4) 今後、日本には4,000万人の訪日外国人客が訪れる。スポーツ庁は平成30年3月には「スポーツツーリズム需要拡大戦略」を策定し、新規重点テーマとして「アウトドアスポーツツーリズム」と「武道ツーリズム」を掲げてインバウンド推進を目指しており、YouTube（ユーチューブ）上に動画を公開しそれぞれ多くの再生数が話題になっている。本市に目を向けると、元オリンピックが会長職を務める袋井市スポーツ協会や、エコパ及び新総合体育館という充実した施設、遠州三山での精神修行及び精進料理の提供等の心・技・体を養うリソースが揃っており、特に武道に関して袋井市の宿泊施設を中・長期利用するパッケージが企画できるのではと感じるが、本市のスポーツツーリズムに関しての取り組みを伺う。</p>					市長	

質問順序	2	議席番号	14	質問者	浅田 二郎
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>海は宝、地域資源を市民のために</b> 東日本太平洋沖大地震後、「海は怖いもの」との認識が強まっている。海の宝としての役割を再確認し、安全対策をより強化するとともに、この資源を住民のため生かそう。  (1) 改めて「海」をどのように考えられているか伺う。  (2) 防潮堤の完成の見通しはどうか。 ..... (3) 学校教育の中で、浅羽海岸がどう位置付けられているのか、現状と対策を伺う。 ..... (4) 防潮堤が、海と住民を分断するようになっている。より高く、より勾配がきつくなった防潮堤を、車で超えることはできないか。				市長   教育長  市長
<b>2</b>	<b>浅羽支所の分庁機能をなくすのか</b> 総合センターの袋井商工会議所持ち分の購入に関連し、教育部・産業環境部・上下水道課の移転により、浅羽支所の分庁機能をなくす計画が示された。  (1) 総合センターの袋井商工会議所持ち分は、何のために購入されるのか。「袋井市公共施設等総合管理計画」との整合性は。  (2) 総合センターの本庁舎との一体的利活用とはどういうことか。  (3) 総合センターの袋井商工会議所持ち分購入と、行政機能集約化は別問題ではないのか。  (4) 浅羽支所に分庁機能を備えてきた理由は何か。  (5) 分庁機能をなくしても良いと考えられた理由は何か。  (6) 「業務の効率化とワンストップサービス化による市民の利便性向上」「自然災害等への備えと復旧・復興対策の強化」が分庁機能をなくす理由となっているが、具体的にどういうことか。  (7) 空く浅羽支所2階の大半と現在未利用の1階の約半分をどのようにするのか。				市長

質問順序	2	議席番号	14	質問者	浅田 二郎
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>3</b>	<b>待機児童解消のため、0～2歳に特化した公立保育園を</b> 先日、袋井市は、待機児童数でも、待機児童増加数でも、県内トップとなったとの報道があった。待機児童解消は最優先的課題である。				教育長
	(1) 今年4月1日現在の年齢別人口、保育所入所希望数、保育所定員、保育所入所希望率はどのようなものか。 (2) 子ども・子育て支援事業計画（実施計画）での同様の数値を示してください。いつ解消できるのか。計画の再検討は必要ないか。 (3) 公立幼稚園の認定こども園化は具体的な検討は進んでいるのか。 (4) 公立の0～2歳に特化した保育園設置の検討へ決断されるよう提案するが。				

質問順序	3	議席番号	3	質問者	佐野 武次
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>通学路の安全対策</b> 滋賀県大津市の事故を受け、通学路の主要交差点等において、歩行者の安全を守るため、危険と思われる箇所には「ガードレール」や「ガードパイプ」、また「ポール」等を設置し、痛ましい事故を防ぐ対策を早急を実施すべきである。				教育長
	(1) 大津市の事故を受けて、市内における、通学路の交差点等の危険箇所の再点検は、実施したか伺う。				.....
	(2) 交差点における歩行者の安全確保に向けては、全ての危険箇所を、一度に整理することは難しいと思うが、地域からの要望や点検結果を踏まえ、改善が必要な箇所については、計画的に「ガードレール」や「ガードパイプ」等の設置をはじめ、「歩行者だまり」の確保などの安全対策を、早急を実施する必要があると考えるが、市の考えを伺う。				市 長
	(3) 幼稚園や小学校等においては、子どもたちの通園・通学に対し、どのような指導や対応を行っているか伺う。				..... 教育長
<b>2</b>	<b>自治会長等の地域役員の業務負担の軽減</b> 各地域では、自治会やコミュニティセンター活動を主体に、地域住民の協力の下で、さまざまな地域活動を通して、地域コミュニティの形成を図り、住みよいまちづくりの推進に努めてきましたが、各自治会長は活動の主体となる役員の選出等に苦慮している。「地域共生社会」を実現していくため、行政においても、このような状況の解消に向けて、対応を検討すべきである。				市 長
	(1) 定年制度や継続雇用の延長によって、これから役員の高齢化が進むのではないかと心配されるが、この点について、どのように考えられているか伺う。				
	(2) 特に、民生委員・児童委員の選任にあたっては、年齢制限があることや活動時間の多さなどから、選任に苦慮している。特に、他の地域から転居してきた自治会長は、適任者の情報を得ることも難しく、頭を悩ませている。こうしたことから、民生委員・児童委員の選任は、市が担うことを提案するが考えを伺う。				
	(3) 自治会長等は、市役所への多くの書類の提出やごみの分別収集等をはじめ、地域活動の提案・準備など、多様な業務を抱え、大変、多忙な状態にある。そこで、提出書類の簡素化など、より効率化を図るよう提案する。また、仕事に就かれている方は、各課が開催する会議を、夜間開催に変更していただきたい要望もある。これらについて、市の考えを伺う。				

質問順序	4	議席番号	1	質問者	森杉 典子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>インフルエンザ予防接種について</b> インフルエンザは、毎年12月から翌年の3月ごろにかけて流行します。高齢者へのインフルエンザ予防接種は定期接種として実施されていますが、他の世代の方々は任意接種のため助成がされていません。  (1) 中学3年生・高校3年生を対象のインフルエンザ助成制度の本市の考えを伺う。  (2) 受験シーズンのインフルエンザの状況と課題を伺う。				市長
<b>2</b>	<b>病児保育の利用について</b> 本市では、病気や病気の回復期にある子どもの保育を行うことにより、子どもの健全育成、保護者の子育てと仕事の両立を支援する病児・病後児保育が平成28年11月よりスタートしています。  (1) 本市の病児・病後児保育の利用状況と課題を伺う。  (2) 周辺市町との相互利用の本市の考えを伺う。  (3) 利用対象者と施設の拡充の本市の考えを伺う。				教育長
<b>3</b>	<b>教室へのエアコン設置後について</b> 子どもたちにとって安全な学習環境を整えるため、本年6月末までに、市内幼稚園・小中学校にエアコンが設置されます。  (1) エアコン設置後の各学校での使用基準を伺う。  (2) 健康被害がない範囲で、電気代・メンテナンスコストを抑える本市の考えを伺う。  (3) 冬季のエアコン使用の本市の考えを伺う。  (4) エアコン設置に伴い、子どもたちへの環境教育の本市の考えを伺う。				教育長



質問順序	5	議席番号	15	質問者	高橋 美博
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一問一答》					答弁者
1	<p><b>袋井駅前（仮称）新産業会館新築工事に伴う代替駐輪場の運営改善について</b>  民間の運営、1年間の期限付きではあるが市にも責任があり、利用者の声に応えるべきと考える。市の対応について伺う。</p> <p>(1) 代替駐輪場の利用実態について、動向調査を実施すべきではないか。</p> <p>(2) 代替駐輪場に雨カップ等の着脱ができる雨よけ施設の設置を求めるがどうか。</p> <p>(3) 民間の屋根付きの預かり所の斡旋はできないか。</p>				市長
2	<p><b>中東遠総合医療センターの袋井市民の利用を増やす対策について</b>  開院から6年が経過し、順調な運営を進めているが、袋井市民の不満は解消していない。袋井市民の利用をどのように増やしていくのか市の対策を伺う。</p> <p>(1) 開院以来、年々袋井市民の受診が減っている。市長はどう感じているか。</p> <p>(2) 要因をしっかりと分析し、対策が必要と考えるがどうか。</p> <p>(3) 負担金の負担割合について、掛川市と見直し協議をすべきと考えるがどうか。</p>				市長
3	<p><b>小中学校・幼稚園等教育施設の施設修繕費の予算確保について</b>  学校等の関係者から、施設修繕の要求を出してもなかなか通らないとの声が寄せられている。現状について伺う。</p> <p>(1) エアコンの運用指針は定められているか。また、電気代は確保されているか。</p> <p>(2) 今年度の予算編成で大きな事業実施のために先送り等をしていないか。</p> <p>(3) 要求の取りまとめ、現場の確認、経費の積算、優先度の判断基準など予算計上までの手順はどうか。</p> <p>(4) 寄せられている要求件数、その内訳、実施率はどうか。</p>				教育長

質問順序	5	議席番号	15	質問者	高橋 美博
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
4	<p><b>「幼児教育・保育無償化」制度実施への対応について</b></p> <p>「幼児教育・保育の無償化」を実施するための「子ども・子育て支援法改正案」が本年5月10日に成立したが、さまざまな問題点を抱えている。市の対応を伺う。</p> <p>(1) 「無償化」制度が10月からスタートとなるが、教育長はこの制度をどのように捉えているか。</p> <p>(2) 給食費の徴収により新たな負担増となる本市の対象世帯数はどうか。また、その支援は考えているか。</p> <p>(3) 本市では、一定の基準を満たす認可外保育施設を認証保育所として運営費補助金、保育料補助金を交付しているが「無償化」後も継続するのか。また、入所児童数はどうか。</p> <p>(4) 待機児童解消の対策など早期に検討を開始し、総合的な幼児教育・保育施設の整備方針を示すことが必要と考える。そのスケジュールはどうか。</p>				教育長

質問順序	6	議席番号	5	質問者	竹野 昇	答弁者	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）						《一問一答》	
<b>1</b>	<b>袋井市独自の高齢者の定義について</b> 人生100年時代が到来している現在、従来の高齢者の定義「65歳以上」は時代に合わなくなっている。今日、65歳以上から75歳前後の人々を、高齢者呼ばわりするのは本人に失礼であり、その世代の人々の知識・技術・社会的経験を、社会・地域が必要とする時代になっている。そこで提案する。  (1) 政府や県に出す高齢者に関する書類は従来通りはやむを得ないが、袋井市が市民向けに出す各種文書（総合計画やまちづくり計画、広報など）では、高齢者の定義を76歳以上とし、66歳から75歳までを熟年者としてはどうか。					市長	
<b>2</b>	<b>土橋工業用地開発計画について</b> 県企業局と連携を図り工業用地開発を計画している土橋地区は、農振農用地区域に指定されており、予定地全てが豊かな水田が広がる優良農地である。 農振農用地区域を除外できなければ、2020年度以降予定している県企業局との協定締結、事業用地取得、造成工事は、一步も進まない。開発計画は頓挫することになる。  (1) 豊かな水田を埋め立てて工業用地を造成するのは、袋井市の自然環境保全政策と矛盾する。6月市議会に出されている議第5号「袋井市自然環境、景観等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例の制定について」の基本理念「第2条 美しい景観、豊かな自然環境及び良好な環境は、これまで先人が大切に守り育ててきた市民全体の共通財産であり、この環境を将来の世代に引き継いでいくために、市民、事業者、土地所有者及び市が協働して、その保全及び活用が図られなければならない。」と、土橋工業用地開発との矛盾を市当局はどう考えているのかを問う。					市長	

質問順序	7	議席番号	11	質問者	近藤 正美
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>多文化共生のまちづくり推進について</b> 現在、本市の人口約88,000人のうち約5%が外国人市民であり、本年4月からの外国人労働者の受け入れ拡大に伴い、今後も増加が予測される。互助により文化や習慣の違いを理解して信頼関係を築き、多様性が地域の活力を高めるものと期待される。  (1) 「ふくろい多文化共生のまちづくり計画」による本市の進める方向性や役割は具体的にどのようなものか。  (2) 多文化共生を推進する上で多くの課題があると思われるが、具体的にどのように対処するか。  (3) 外国人市民を地域の行事や自治会活動に取り込む方策は何か。				市長
<b>2</b>	<b>『地区住民アンケート』の調査結果の評価と今後の対応について</b> 本年1月、特色ある地域づくり交付金の地域活動加速化支援分を活用して、浅羽北地区まちづくり協議会が自治会連合会と連携して、住民アンケートを実施した。中学生以上の2,000人を対象に調査した結果、1,860人(93%)の高い回収率で、住民の思いや現状、地域の魅力や抱える課題等の把握に大変役立つものとなった。  (1) この調査は中学生以上を対象としたことと高い回収率に意味があると思われるが、この調査結果をどのように評価するか。  (2) 地区の要望や意見に対して、今後具体的にどのように対処するか。  (3) この調査結果に基づくまちづくり協議会への支援策はどうか。				市長
<b>3</b>	<b>袋井の景観遺産である秋葉山常夜燈について</b> 地域の歴史文化遺産の一つである秋葉山常夜燈は、現在、市内に50基が存在している。住民の「火の用心」や「町内・家内安全」の思いを表現するものとして、後世に歴史的な意義とその存在を伝えていきたいものである。  (1) 常夜燈の管理・保存は現在どのようになっているか。  (2) 市指定の文化財への登録はできないか。  (3) 小・中学校での学習教材としての活用状況はどうか。				教育長

質問順序	8	議席番号	8	質問者	寺田 守	答弁者	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）						《一括》	
<b>1</b>	<b>市道小山鷺巣線（鷺巣地内）の整備</b> 市道小山鷺巣線（鷺巣地内）は、袋井市みちプログラムにおける短期整備路線に位置付けられたが、事業の進展状況を伺う。  (1) 地域や地権者との意見交換や協議を進めていくとしているが、進展はどうか。  (2) 地元との協議を進めるためには整備区間、方法、時期などより具体的な計画が必要だが、提示していくことは可能か。					市長	
<b>2</b>	<b>小中学校での外国人児童生徒への対応</b> 市内での外国人の増加が進む中、小中学校での外国人児童生徒への日本語教育やコミュニケーションがますます重要になっている。市の取り組みについて伺う。  (1) 日本語が分からない外国人児童が学校生活に慣れるため、小学校での初期支援教室の役割は重要だが、受け入れ人数は十分か。  (2) 中学校の外国人生徒にも初期支援教室や取り出し教室が必要と思うが、態勢はできているのか。  (3) 袋井北小ともえサポーターズによる日本語指導を行うため、講師の派遣などの支援体制はあるか。					教育長	

質問順序	9	議席番号	13	質問者	<b>岡本 幹男</b>	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）						答弁者
1	<p><b>引きこもり対策について</b></p> <p>引きこもりが社会問題化されており、特に、15歳から39歳までの推計54万人とされる若年層の引きこもりに加え、40歳から64歳までの推計61万人とされる中高年の引きこもりが問題となっている。高齢かつ長期化する親子共倒れのリスクは「8050問題」として深刻視されている。そこで、袋井市の引きこもり対策について以下の3点を伺う。</p> <p>(1) 引きこもりの対象者の把握と対象者へのコンタクトについて、実施している対策は何か。「8050問題」では高齢の親からの地域包括支援センターへの相談で引きこもりが発覚するケースも多いと聞く。地域包括支援センターなど関連部署との連携をいかに行っているか。</p> <p>(2) 引きこもりの相談窓口の設置と周知をいかに行っているか。近隣市の磐田市では、福祉課に来訪された方が磐田市就労準備支援センターへ回る仕組みができており、掛川市でも福祉課と「地域若者サポートステーションかけがわ」などと連携した支援を実施している。袋井市では社会福祉協議会に相談窓口はあるものの、袋井市自体の相談体制は明確化されていない実情にあり、関係者からは事態の改善が望まれている。</p> <p>(3) 引きこもり対象者への就業支援に向けたサポート、就業の継続に向けたサポートをいかに行っているか。「地域若者サポートステーションかけがわ」には袋井市内で15歳から39歳の支援を待つ人が73人登録されており、また、特定非営利活動法人青少年就労支援ネットワーク静岡も袋井市内で支援を実施している。引きこもりの高齢化進展が憂慮される事態に対し、こうした支援関連団体との連携強化をしていくべきと考えるがどうか。</p>					市長
2	<p><b>介護分野へ人材確保について</b></p> <p>介護分野での人材不足が問題となっており、対策について以下の3点を伺う。</p> <p>(1) 傾聴ボランティアなど介護支援ボランティアへの応募が減少傾向にあると聞く。介護支援ボランティアに関する調査の実施方法の改善や、応募の増加など盛り返す方法はないか。</p> <p>(2) スリーデイズワーカーズオフィス構想は、現在、生涯現役促進地域連携事業として実施されているが、介護現場からの、シーツ交換や風呂掃除などの仕事の切り出しに対応する連携が取れているか。</p>					市長

質問順序	9	議席番号	13	質問者	岡本 幹男
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
	<p>(3) 静岡県健康福祉部では令和元年度の重点事業の1番目に福祉人材参入促進事業として、小中高生を対象とした福祉職啓発セミナーを150講座実施する。袋井市内小中学校でこれを実施し、将来の袋井市内の福祉人材の安定的な確保を図ることはできないか。</p>				教育長
<b>3</b>	<b>地域公共交通について</b>				市長
	<p>(1) 地域公共交通の必要者に必需品として「マイ時刻表」ないし「私の時刻表」を作成交付する仕組みを作るべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 地域が自ら考える要素を取り入れた話し合いをどのように実現させる方針か。</p> <p>(3) 専門家の導入、地域公共交通会議への市議会の参加を提案したが、その後の進展はどうか。</p>				
<b>4</b>	<b>外国人児童生徒の受け入れ態勢強化について</b>				教育長
	<p>(1) 教育現場では、通訳の回数を増やしてほしいとの要望もあると聞く。翻訳・通訳業務従事者の運用は、対応言語、訪問回数など各校の需要を満たしているか。</p> <p>(2) 小学6年生の総合の授業で、「外国人がどういう思いで日本に来ているか。」をテーマに取り上げている例もある。このように、外国人の児童生徒の側に立った理解促進の指導はなされているか。</p>				

質問順序	10	議席番号	2	質問者	村井 勝彦
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>交通安全対策の取り組み</b> 高齢者の運転操作ミス等による交通事故や幼児、児童生徒の通学途中等における交通事故が多発している。  (1) 高齢者の運転免許証の返納に関する取り組み状況はどうか。  ア 高齢者の運転免許証の返納に関して、これまでどのような取り組みを行ってきたか。  イ 高齢者の運転免許証返納に係る課題をどのように捉え、今後、どのような取り組みを行うか。 ..... (2) 幼児、児童生徒の通学途中等における交通事故から守るため、今後、どのような取り組みを行うか。  ア 通園、通学路などにおける危険箇所等は把握できているか。  イ 幼児、児童生徒などを交通事故から守るため、今後、どのような対策を行うか。				市長       教育長
<b>2</b>	<b>農地の保全と地域づくりに向けた取り組み</b> 集落内の農地が農用地に指定されている地区において、農用地の指定が地域のまちづくりを進める上で課題となっている。  (1) 集落内に小規模な農地が農用地に指定されているが、このような農地をどのように捉えているか。  (2) 農用地を除外する場合、どのような基準に基づき除外しているか。  (3) 大和ハウス工業(株)周辺を東の玄関口として商業の活性化や地域の活性化など本市のまちづくりに資することが期待されると説明されたが、国道1号沿線並びに周辺の農地は農用地に指定されているが、今後、東の玄関口にふさわしい地域づくりをどのように進めていくか。				市長
<b>3</b>	<b>ラグビーワールドカップ2019に向けた取り組み</b> ラグビーワールドカップ2019に向けて多くの取り組みが計画されているが、来訪者がより快適に過ごせる空間の創出に向けて、公共施設の改修整備が必要である。  (1) 市が管理する愛野駅のトイレの改修整備を行う必要はないか。				市長



質問順序	11	議席番号	4	質問者	木下 正
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	<b>袋井市メール配信サービス「メローねっと」のさらなる普及と同報無線の今後の対策について</b> (1) メローねっと普及活動のさらなる対策は何か。 (2) 本年4月に改訂された「災害情報伝達手段の整備等に関する手引き」はどのように検証したか。 (3) 「コミュニティ放送を活用した自動起動ラジオの周知・展開」は検討しているか。				市長
2	<b>待機児童と放課後児童クラブの今後の対策について</b> (1) 保育所等の定員と保育所等の整備計画について伺う。 (2) 認定こども園化を見据えた幼稚園教員免許及び保育士資格を有する者の人材確保と研修について伺う。 (3) 放課後児童クラブにおける放課後児童支援員認定資格研修修了者の人材確保と研修について伺う。				教育長
3	<b>地域公共交通と買い物弱者対策</b> (1) 現在の地域公共交通は、路線やダイヤなどが適正であるかどのように検証しているのか。 (2) バスやデマンドタクシーの料金や使用・利用方法などについて、市内他の地域との全市的バランスは市民の納得できるものになっているか調査したか。 (3) 市内の公共交通は買い物弱者に対応できているか。 (4) 買い物弱者対策に資する国の補助事業はどの程度活用しているか。				市長

質問順序	1 2	議席番号	1 0	質問者	山田 貴子	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
1	<b>ラグビーワールドカップ2019開催にあたって</b> いよいよラグビーワールドカップ2019の開催が間近になってきました。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ホームステイは、順調に進んでいますか。</li> <li>(2) 愛野駅からエコパスタジアムまでのおもてなしエリアの出店計画は。</li> <li>(3) キャッシュレス環境整備の推進は。</li> <li>(4) ホームステイを考えている人たちやサービス業の人たちが、外国人対応強化のため、多言語対応の携帯型翻訳機の導入を推進し、その機器購入に対して補助金を与えるとか、市が一括購入して貸与するなどと思うがいかがか。</li> </ol>				市長	
2	<b>子どもたちの安全・安心確保のため</b> 川崎市でスクールバスのバス停で小6 女児らが犠牲となった殺傷事件は、安全対策の難しさをあらためて突き付けられました。子どもが安心できる社会の構築は大人の責務です。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各校では、毎朝夕、地域安全推進員やスクールガードボランティア等の地域防犯ボランティアが通学路に立ち、児童の登下校の安全を見守っています。仮に不審者が近寄ってきた場合、児童の身はもちろん、地域防犯ボランティアたちの安全はどのように守られていますか。</li> <li>(2) 青色回転防犯パトロールは、どのように活動され、地域単位では、人が足りていますか。</li> <li>(3) 青色回転防犯パトロール活動は、二人一組となっているが、身の安全の対策はされているか。</li> <li>(4) 学校では刺股が配置されているが、この青色回転防犯パトロールや、地域安全推進員、スクールガードボランティアなどにも配置すべきと思うがいかがか。</li> </ol>				市長	
3	<b>自転車の安全対策</b> 自転車の事故は後を絶たず、去年は、県内で3,992件発生しました。県は自転車の安全利用を促進するために「静岡県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を本年4月1日に施行しました。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 10月1日から施行される小・中学生の通学時ヘルメット着用義務化と自転車損害賠償保険への加入義務化への周知は、どのようにしていますか。</li> </ol>				市長	

質問順序	12	議席番号	10	質問者	山田 貴子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
	(2) 自転車保険加入費用の一部を藤枝市は負担する方針を固めたが本市の考えは。				市長
<b>4</b>	<b>学校生活</b> 浜松市教育委員会は、2018年度に小中学校で確認された児童生徒の不登校やいじめ、教職員による体罰の件数が報告されました。それに伴い本市の現状について伺う。  (1) 本市の小学生・中学生の不登校人数を伺う。  (2) 同じく、いじめの認知件数を伺う。  (3) 教職員の体罰の件数を伺う。  (4) 適応指導教室は足りているか。また、十分活かしているか。  (5) 今後の対策を伺う。  (6) 不登校やいじめを題材にして「クラス会議」を行えないか。				教育長

質問順序	13	議席番号	16	質問者	高木 清隆
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					答弁者
<b>1</b>	<b>地域との協働による高等学校改革の推進との報道を受けて</b> 高校生が地域課題を解決する取り組みを地域の多様な主体と連携・協働して企画・実施することは、地域への愛着や地域の将来を担う当事者としての意識向上など、地域の持続的な発展にも資することが期待される。				教育長
	(1) 高校普通科の抜本的な改革の方向性が示された背景を、どう捉えているのか。 .....				.....
	(2) 第2期となる地方創生の施策において、重点の一つとして高校生人材の活用が示されたことを、どう捉えているのか。				市長
	(3) 高校生人材の活用に向け、市としての取り組みの考え方と、地域・産業界との連携のあり方についてどう考えるか。				
	(4) 静岡県商業教育高度化対応研究委員会の動向と、現状における5年制化推進に向けた取り組みの位置付けについて伺う。 .....				.....
	(5) 県立高校におけるコミュニティ・スクール導入の動きについて、どう捉え、どう支援していく考えなのか。				教育長
	(6) 近接する小中一貫教育校構成校が立ち上げる校区運営会議等への参画・連携が必要と考えるが。				
<b>2</b>	<b>ソサエティ5.0に向けた人材育成について</b> サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立するとしていく新たな社会である、ソサエティ5.0の時代を目指す構想が、第5期科学技術基本計画において、わが国が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱された。				市長
	(1) 経済発展と社会的課題の解決の両立を目指すとする、ソサエティ5.0構想を、どのように捉えているのか。 .....				.....
	(2) ソサエティ5.0の実現に向けた取り組むべき施策への実現性と課題について .....				教育長
	(3) AIチャットボット、AIスタッフによる案内サービスの効果と課題は。 .....				市長
	(4) ソサエティ5.0時代に向けた、袋井市におけるキャリア教育の在り方について				教育長